



香川の 土地改良

発行所

香川県土地改良事業団体連合会

高松市番町 2 丁目 4 番 27-301 号

TEL (087) 822-0303

FAX (087) 851-1787

<http://www.midorinet-kagawa.or.jp/>



空ちゃん田んぼ（東かがわ市）

目 次

1. 第 32 回全国土地改良大会島根大会開催2~3
2. 平成 21 年度土地改良区役職員研修会開催4
3. 「農地・水・環境保全向上対策シンポジウム in かがわ 2009」開催5
4. レンコン収穫祭 in 引妻池6
5. コスモス鑑賞会7
6. 限りある水を大切に ～水土里ネット香川用水が出前授業～8
7. 田んぼの学校・稲刈り ～千歯こぎ・足踏み脱穀機で昔の農作業を体験～8
8. お知らせ/ため池百選/会と催し9
9. 第 18 回公渕菊花展10

第 32 回全国土地改良大会 島根大会開催

国引きのロマン、水土里の想い。神話の郷から今、未来へ。



第 32 回全国土地改良大会島根大会が 10 月 28 日、全国水土里ネット、水土里ネット島根主催、農林水産省、島根県、松江市後援のもと「国引きロマン、水土里の想い。神話の郷から今、未来へ。」をテーマに松江市のくにびきメッセで開催され、式典には全国から約 3,500 人の土地改良関係者が参加した。

農業生産に不可欠な「水・土・里」は、長い歴史のうえに積み上げられた人々の叡知の集積であり、日本人の心のふるさとである。「第 32 回全国土地改良大会」は、「食料の安定供給」や「食料の安全・安心」が大きな関心事となっている昨今、農業生産を支える農地や農業用水路などを維持・保全・整備する農業農村整備の重要性を広く国民にアピールするとともに、土地改良法制定 60 年という節目の年に、今一度、「水・土・里」の想いを再認識し、共生・循環・持続する国のかたちづくり、地域づくりについて語り合うことを目的に開催された。

大会式典は、主催県の水土里ネット島根青木幹雄会長が「先人達が築いてきた豊かな農業・農村環境を良好な状態で次世代に継承して行くため、農地・水・環境保全向上対策も全国各地で展開し全力を上げて今取り組んでいる。今後とも、このような事業が継続され農家・非農家、農村・都市を問わず水土里の想いを次世代へつなげていくことが大事。」また、「地域資源の維持管理の自主組織でもある水土里ネットの役割を国民全体の共有認識とするため本日もご参集の皆様とともに声を大にして訴えて行こうではありませんか。」と挨拶。

続いて、全国水土里ネット野中広務会長が「あらゆる食料品の価格が高騰の兆しを見せ、国民生活に大きな不安が横たわっており、食料自給率の向上が必要。」また「水と土と里を国民共有の財産として後世に残すため、行政と連携して農業水利施設を保全していくことが必要。」と述べた。

続いて、土地改良事業功績者表彰に移り、農林水産大臣表彰 6 名、農林水産省農村振興局長表彰 16 名、全国土地改良事業団体連合会会長表彰 47 名にそれぞれ表彰状と記念品が授与された。本県からは、農林水産省農村振興局長表彰に高松市一宮土地改良区理事長の三笠輝彦氏、全土連会長表彰に内海町安田三五郎池土地改良区理事長の山本貞二氏が受賞の榮譽に浴された。

基調報告は、農林水産省農村振興局の齋藤晴美次長から「基盤整備の地域の力による元気な農業農村の構築と活力ある農業農村に向けた力強い取り組み」の報告があった。

また、大会宣言では、島根大学の影山浩樹さんと丸田恵理子さんが、神在月の今日ここに集う関係者は、健全な「水」「土」「里」を守ることにより、「食料」「水」「エネルギー」の資源供給を担うばかりでなく、「国土」を保全する重要な責務をも担う者として、国民の負託と信頼に一致団結して応えていくことを、日本国の黎明の歴史を今に伝えるここ島根の地において高らかに大会宣言をした。



農村振興局長表彰の
三笠輝彦氏



全土連会長表彰の
山本貞二氏



大会宣言

続いて、次期開催地の長崎県が「伝えよう 水の音色 土の温もり 里の安らぎ 西端の風にのせて。」をテーマに紹介され、大会旗が水土里ネット島根の青木会長から、全国水土里ネットの野中会長、そして、水土里ネット長崎の宮本会長へと手渡され、一段と盛大な拍手が沸き起こった。

最後に全国水土里ネット吹田愧副会長より参加者へのお礼が述べられ、第 32 回全国土地改良大会は盛会裏に幕を閉じた。



大会旗の引き渡し



出雲大社



石見神楽

平成21年度土地改良区役職員研修会開催

去る10月15日、16日の2日間、香川用水記念会館において土地改良区役職員研修会を開催した。この研修会は、水土保全強化対策事業の一環として土地改良区の適正な運営を図ることを目的に毎年実施しており、県、市町、土地改良区の役職員等76名が受講した。

開会にあたり、本会山地常務理事から出席者に対しお礼の挨拶があり、続いて香川県農政水産部土地改良課の黒川課長より現在の農業農村整備事業の状況等について紹介があった。

研修会は、2日間にわたり下記日程のとおり行われた。



10月15日（木）

時 間	科 目	講 師
9:50~10:00	開講式	
10:00~11:00	土地改良区の運営について	香川県農政水産部土地改良課 副主幹 坂田 浩
11:00~12:00	共助の社会づくりとボランティア	香川県総務部県民活動・男女共同参画課 主任 大野 由香
13:00~14:00	土地改良区をめぐる情勢と組織運営 基盤の強化	全国土地改良事業団体連合会 参 与 茂木 吉成
14:00~15:00	農業用施設賠償責任保険加入及び事 故発生への対応について	日本興亜損害保険株式会社四国支店 営業第2課長代理 今沢 啓悟
15:10~16:10	土地改良区運営実態調査について	香川県土地改良事業団体連合会 企画指導課長 多田 竹夫

10月16日（金）

時 間	科 目	講 師
10:00~11:00	中山間地域等直接支払制度について	香川県農政水産部農村整備課 課長補佐 横内 春夫
11:00~12:00	耕作放棄地再生利用支援事業について	香川県農政水産部土地改良課 課長補佐 阿部 泰人
13:00~14:00	食料・農業・農村をめぐる情勢について	中国四国農政局企画調整室 調整官 末 吉 修
14:00~15:00	土地改良区の会計経理について	中国四国農政局農村計画部土地改良管理課 課長補佐 林 栄二
15:10~15:40	農地法の一部改正について	中国四国農政局生産経営流通部構造改善課 課長補佐 藤原 伸光
15:40~16:10	土地改良区における男女共同参画の 取り組みについて	中国四国農政局生産経営流通部経営支援課 課 長 平山 雅通
16:10~16:30	質疑応答	
16:30~16:35	閉講式	

「農地・水・環境保全向上対策シンポジウム in かがわ 2009」開催

「農地・水・環境保全向上対策シンポジウム in かがわ 2009」が 11 月 1 日、丸亀市のアイレックス（丸亀市綾歌総合文化会館）において、農地・水・環境保全向上対策東讃地域協議会、中讃地域協議会、西讃地域協議会主催により開催された。

シンポジウムには、主催者側から東讃地域協議会石原収会長、中讃地域協議会千葉宗和会長、西讃地域協議会村上明秋会長、東讃地域協議会十川昭五副会長、また来賓として、香川県東讃土地改良事務所西紋所長はじめ香川県土地改良事務所の方々、活動組織の農業者や非農業者、市町、土地改良区、農協など関係者 511 人が参加した。

東讃地域協議会石原会長の開会の挨拶でシンポジウムが始まり、基調講演では N P O 法人筒井義富代表理事より「より良い地域づくりに向けて」と題して、農村のあるべき姿と地域づくりについて講演していただいた。休憩を挟み、三木町の山大寺池の資源・環境を守る会の安西清代表から「山大寺池の法面を利用した景観作物の植栽と維持管理の実践」と題して写真等を使い活動内容の発表があった。続いて、丸亀市の花の里黒嶋地域保全活動組織杉尾眞澄副代表から「耕作放棄水田を活用した心ふれあう、花の里づくりの取組み」と題して農村環境保全への取組み事例の発表があり、三豊市の音田、資源と環境を守る会の小野正俊代表からは「地域一丸となり、山間地のため池や農地を守る！！」と題して環境美化についての事例発表があった。最後に、中讃地域協議会千葉会長の挨拶で閉会となり、盛大なシンポジウムとなった。



農地・水・環境保全向上対策

レンコン収穫祭 in 引妻池

まえだ環境保全組合（高松市）



挨拶をする伏見代表



「天高く馬肥ゆる秋！」今年で 2 回目のレンコン収穫祭が 10 月 17 日、高松市前田西町の引妻池周辺において、まえだ環境保全組合（代表 伏見正範）主催のもと行われた。

まえだ環境保全組合は、平成 19 年度から農地・水・環境保全向上対策に取り組んでおり、引妻池にはハスが植栽され、夏場には大輪の花を咲かせ地域住民の憩いの場となっている。また、昨年冬にはコブハクチョウ（白）とコクチョウ（黒）の二羽が飛来して仲良く池の中をスイスイと泳いでいた。

開会には、東讃地域協議会の石原会長をはじめ県、市、地域協議会の来賓の方々及び活動組織の方々大勢が参加した。

レンコンの収穫は、ウエットスーツを着て腰まで水の中に浸かり、手探りで掘り起こした。また、近くの畑では、親子連れがサツマイモ掘りを行い、小さな手で大きなイモを掘り起こしていた。

お昼には、自治会や老人会の方々により、キヌヒカリのおにぎりにレンコンとサツマイモの天ぷら、具だくさんのドジョウ汁などが参加者に振る舞われた。昼

食中、ラジコンヘリのデモンストレーションがあり和気あいあい楽しみながらの昼食会となった。帰りには、みんなで収穫したレンコンとサツマイモがお土産として配られた。

引妻池に飛来した
コブハクチョウとコクチョウ

芋掘りを楽しむ親子連れ

コスモス鑑賞会

郡池・農地・水・環境保全活動組織

去る10月24日、三豊市三野町郡池地区においてコスモス鑑賞会が行われた。

天候にも恵まれ爽やかな秋晴れのもと、多くの家族連れが訪れた。色とりどりの満開のコスモスが風に揺れる様子を見ているだけで、日頃の疲れが癒される。

当日は、振舞われた綿菓子やパウンドケーキを頬張りながら走り回っている子どもたち、満開のコスモス畑に立つ子どもを写真に撮る父親、子どもと一緒に夢中でコスモスを摘む母親（当日はなんと好きなだけコス



モスの持ち帰りOK!）、誰もがこの瞬間を心から楽しんでいるように思えた。

このコスモス畑は、郡池・農地・水・環境保全活動組織が事業の一環で管理を行っている。植栽地(A=1.3ha)の耕起から播種、水遣り、施肥、採種といった一連の作業を保全会の構成員が協力して毎年行っている。こうした催しは今回が初めてであったが、予想以上の反響を得ることができ、保全会の方々の喜びもひとしおであったと思う。「この地区に住む人、またこの地区を訪れる人たちみんなの心が安らぐような景観を作りたい!」そんな想いで始められたコスモスの植栽活動。保全会の方々にとっては、その活動の成果が実感できる良い機会であったろう。



コスモス摘みを楽しむ親子連れ

21 世紀土地改良区創造運動

限りある水を大切に

～水土里ネット香川用水が出前授業～

10 月 1 日、水土里ネット香川用水(理事長 組橋啓輔)は、さぬき市大川町のさぬき市立富田小学校において「出前授業」を実施。

この日は、富田小学校 4 年生児童 35 名と松尾小学校の 4 年生児童 12 名が参加した。「出前授業」は、まず教室において行われ、ため池の役割や水不足対策のために建設された香川用水が年間約 2 億 7 千万トンの水を香



川県に引

き込み、その内の約半分の水が浄水場の管理により生活用水となることや水土里ネット香川用水が農業用水の管理をしていることを説明した。

その後、学校近くの田辺池の東部幹線揚水機場に移動して施設内を見学した後、池周辺を歩きゴミや空き缶、落ち葉拾いなどを通して生活に欠かせない水の大切さを学んだ。

田んぼの学校・稲刈り

～千歯こぎ・足踏み脱穀機で昔の農作業を体験～



水土里ネット屋島仲池(理事長 谷口辰男)が 21 世紀土地改良区創造運動の一環として指導する、高松市立屋島小学校 4 年生の「にこにこ田」が収穫の日を迎えた。

10 月 19 日、午前 9 時に小学校近くの「にこにこ田」には 4 年生児童と父兄等が集合。今と昔の農作業を比較するため、最初にコンバインによる稲刈りを見学し、

続いて、横一列に並び黄金色に実った稲を鎌で丁寧に刈り取った。刈り取った稲は、コンバインでも脱穀されたが、児童は千歯こぎや足踏み脱穀機による昔ながらの脱穀作業を体験し、収穫の喜びや苦勞を味わった。12 月には全校児童による餅つき大会が行われ、地域のお年寄りにも配られ地域住民と子どもたちとの交流を深めている。



お知らせ

10 月 22 日、高松市番町の香川県社会福祉総合センターにおいて香川県農業会議の第 4 回臨時総会が開催され、新会長に本会理事の三笠輝彦氏（高松市農業委員会会長）が就任した。

また、監査委員には本会代表監事の森川光典氏（観音寺市農業委員会会長）が選ばれた。



三笠輝彦氏



森川光典氏

た め 池 百 選

「ため池百選」の一般投票が 11 月下旬以降に開始予定

地域のため池を百選に！ふるって一般投票に参加して下さい！

農林水産省では、地域に親しまれている各地のため池を農業用水にとどまらず多様な役割を再認識してもらい、保全につなげるために「ため池百選」を選定することとし、4 月 20 日に応募を開始し 7 月 10 日に締め切られました。

ため池百選選定委員会における一次選定で百選候補が選定され、11 月下旬以降に一般投票が実施される予定で、その後、一般投票の結果を参考のため池百選が選定されます。

地域のため池が百選に選定されますよう奮って投票にご参加ください。

詳しくは農林水産省のHPをご覧ください。

会 と 催 し

開催月日	会 の 名 称	開催月日	会 の 名 称
10 月 13 日	綾川町担い手育成総合支援協議会幹事会 (綾川町)	22 日	香川県農業会議第 4 回臨時総会、 常任会議員会議 (高松市)
〃	平成 21 年度第 4 回電算化検討委員会 (高松市)	25 日	綾歌地区土地改良事業団体当務者会 研修会 (直島町)
14 日	平成 21 年度中国四国ブロック水土里 情報センター連絡会議 (岡山市)	26 日	香川県経営安定対策基盤整備緊急支 援事業審査委員会 (高松市)
15 日 ～16 日	平成 21 年度土地改良区役職員研修会 (高松市)	28 日	第 32 回全国土地改良大会島根大会 (島根県)
16 日	三豊市担い手育成総合支援協議会担 当者会 (三豊市)	11 月 1 日	農地・水・環境保全向上対策シンポ ジウム in かがわ 2009 (丸亀市)
20 日 ～23 日	平成 21 年度実践技術研修 (開水路・ パイプライン) (岡山市)	1 日 ～5 日	平成 21 年度農業土木技術研修 (NN -CALS/電子納品) (岡山市)
21 日	農地有効利用支援整備事業等に関する 平成 21 年度補正予算見直しに係る意見 交換会 (岡山市)	4 日	「アジア・アフリカ地域 農家組織によ るため池を利用した地域の水管理」研修 打合せ (高松市)
21 日 ～22 日	土地改良施設診断・管理指導に関する 事例集作成ブロック検討会 (岡山市)	9 日	都道府県土地改良事業団体連合会事 務責任者会議 (東京都)

第 18 回 公 洲 菊 花 展



水土里ネット四箇池理事長賞



高松市東植田町の県森林公園で毎年秋に開催されている菊花展は、今年で 18 回目となり、大菊、ダルマ菊や五重塔を表現し、さまざまな種類を組み合わせた総合花壇などが、訪れた人を魅了していた。

農地・水・保全向上対策の活動紹介



農地・水・環境保全向上対策
西植田自然保護組合



農地・水・環境保全向上対策
公城の里活動組織